

# 議会 だより

鳴門市  
NARUTO CITY

## 目次

- 平成30年第1回定例会の主な審査状況 ②
- 平成30年第1回定例会の提出議案と議決結果 ③
- 委員会審査から ④～⑤
- 意見書 ⑤
- 一般質問 ⑥～⑫
- 平成30年第2回定例会の開催予定、人事案件 ⑫
- 平成30年度当初予算・平成29年度補正予算審査 ⑬～⑮
- 議会活動、市民の広場 ⑯

発行／鳴門市議会  
編集／議会広報委員会  
発刊／2018年(平成30年)6月1日



<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

四国と関西を結ぶ、神戸淡路鳴門自動車道が全通20周年を迎え、平成30年4月7日、記念セレモニーが淡路サービスエリア(上り)で行われました。鳴門市議会からは、秋岡議長、東谷副議長、佐藤産業建設委員長、長濱産業建設副委員長が式典に出席し、多くの方々と共にお祝いしました。



神戸淡路鳴門自動車道全通20周年

# 平成30年 第1回定例会の主な審査状況

## 2月14日(水) 第1回定例会 開会 予算決算委員会

- 議会運営委員会より 故 川田達司議員の哀悼決議が提案され、議会運営委員長の提案理由説明、野田議員の哀悼の言葉の後、採決を行い可決されました。黙祷を行い、市長が哀悼の挨拶を述べました。

【哀悼決議】 鳴門市議会では、現職議員が亡くなったときには、直近の議会において親族を招き、哀悼決議を行い、議員代表者が哀悼の言葉を述べ、供花を添え、黙祷を捧げることであります。

- 市長より市政についての所信が表明され、平成30年度一般会計予算案など議案28件、報告1件が提出されました。
- 議案12件を予算決算委員会に付託しました。
- 平成30年度当初予算にかかる議案12件の全体説明を受けました。

## 2月20日(火) 一般質問

- 5会派による代表質問を行いました。

## 2月21日(水) 一般質問

- 議員4名による個人質問を行いました。

## 2月22日(木) 一般質問／予算決算委員会

- 議員2名による個人質問を行いました。
- 市長より平成29年度一般会計補正予算案など議案11件が提出されました。
- 議案1件を附属機関設置審査特別委員会に付託しました。
- 議案1件を非常勤特別職の報酬等審査特別委員会に付託しました。
- 議案25件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。
- 平成29年度補正予算にかかる議案10件の全体説明を受けました。

## 2月26日(月) 総務文教委員会

- 付託された議案6件について審査の結果、いずれも可決すべきと決しました。
- その他として報告3件について担当課より説明を受けるとともに、第六次鳴門市総合計画実施計画（平成30年度～平成32年度）に関する質疑を行いました。

## 2月27日(火) 生活福祉委員会

- 付託された議案8件について審査の結果、いずれも可決すべきと決しました。
- 報告1件について担当課より説明を受けました。
- その他として報告3件について担当課より説明を受けるとともに、第六次鳴門市総合計画実施計画（平成30年度～平成32年度）に関する質疑を行いました。

## 3月28日(水) 産業建設委員会

- 付託された議案1件について審査の結果、可決すべきと決しました。
- その他として報告2件について担当課より説明を受けるとともに、第六次鳴門市総合計画実施計画（平成30年度～平成32年度）に関する質疑を行いました。

## 3月1日(木) 予算決算委員会全体質疑 (普通質疑)

- 企画総務部、市民環境部、健康福祉部の予算案について、議長を除く全議員で質疑を行いました。

## 3月2日(金) 予算決算委員会全体質疑 (普通質疑)

- 経済建設部、教育委員会、企業局、消防本部の予算案について、議長を除く全議員で質疑を行いました。

## 3月5日(月) 予算決算委員会 第1分科会

- 企画総務部、消防本部、教育委員会などの予算案について審査を行いました。

## 3月6日(火) 予算決算委員会 第2分科会

- 市民環境部、健康福祉部の予算案について審査を行いました。

## 3月7日(水) 予算決算委員会 第3分科会

- 経済建設部、企業局などの予算案について審査を行いました。

## 3月8日(木) 附属機関設置審査特別委員会

- 付託された議案1件について審査の結果、可決すべきと決しました。

## 3月8日(木) 非常勤特別職の報酬等審査 特別委員会

- 付託された議案1件について審査の結果、可決すべきと決しました。

## 3月12日(月) 予算決算委員会

- 各分科会から報告を受け、採決を行い、いずれも可決すべきと決しました。

## 3月14日(水) 第1回定例会 閉会

- 第1回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員会・各特別委員会の委員長より審査結果報告を受け、採決を行った結果、議案39件はいずれも可決されました。
- 議員より意見書が提出され、可決されました。
- 市長より人事案件が3件提出され、いずれも同意されました。

## 《 平成30年 第1回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の 委員会		
議案第1号	平成30年度鳴門市一般会計予算	原案可決	予算決算		
議案第2号	平成30年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算				
議案第3号	平成30年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算				
議案第4号	平成30年度鳴門市介護保険事業特別会計予算				
議案第5号	平成30年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算				
議案第6号	平成30年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計予算				
議案第7号	平成30年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算				
議案第8号	平成30年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算				
議案第9号	平成30年度鳴門市給与費等管理特別会計予算				
議案第10号	平成30年度鳴門市公債費管理特別会計予算				
議案第11号	平成30年度鳴門市水道事業会計予算				
議案第12号	平成30年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算				
議案第29号	平成29年度鳴門市一般会計補正予算（第5号）				
議案第30号	平成29年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）				
議案第31号	平成29年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）				
議案第32号	平成29年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）				
議案第33号	平成29年度鳴門市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）				
議案第34号	平成29年度鳴門市光熱水費等支出特別会計補正予算（第1号）				
議案第35号	平成29年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算（第1号）				
議案第36号	平成29年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算（第1号）				
議案第37号	平成29年度鳴門市水道事業会計補正予算（第2号）				
議案第38号	平成29年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算（第2号）				
議案第13号	鳴門市個人情報保護条例及び鳴門市情報公開条例の一部改正について			原案可決	総務文教
議案第14号	鳴門市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について				
議案第15号	鳴門市事務分掌組織条例の一部改正について				
議案第16号	鳴門市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について				
議案第17号	鳴門市消防手数料徴収条例の一部改正について				
議案第39号	鳴門市職員退職手当支給条例等の一部改正について				
議案第18号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について				
議案第19号	鳴門市国民健康保険条例の一部改正について				
議案第20号	鳴門市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について				
議案第21号	鳴門市介護保険条例の一部改正について				
議案第22号	鳴門市介護保険法施行条例の制定について				
議案第23号	鳴門市児童クラブ施設条例の制定について				
議案第24号	鳴門市児童館条例の一部改正について				
議案第25号	鳴門市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	産業建設		
議案第28号	松茂町ほか二町競艇事業組合と鳴門市との間におけるモーターボート競走施行に関する事務の受託に係る協議について				
議案第26号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について			原案可決	附属機関 設置特別
議案第27号	鳴門市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	非常勤特別職 の報酬等特別		
報告第1号	専決処分について（損害賠償の額の決定）	報 告	生活福祉		
決議第1号	故 川田達司議員哀悼決議	原案可決			
意 第1号	徳島県公立高等学校の学区制廃止の検討を求める意見書	原案可決			
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意			
同意第2号	教育委員会委員の任命について	同 意			
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	同 意			

# 委員会審査から

## 総務文教委員会

- 議案第14号 鳴門市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について
- 議案第15号 鳴門市事務分掌組織条例の一部改正について

〔説明〕平成30年度の組織・機構の見直しに伴い、現在、教育委員会が所管するスポーツに関する事務について市長の権限に移管するため、新たに条例を制定するとともに、当該事務を市民環境部の事務分掌に追加するため所要の改正を行うもの。

〔質疑〕どのような目的で市長部局にスポーツ課を新設するのか。

〔回答〕スポーツの持つ魅力や効用を、市民の健康づくりや地域経済の活性化に、より積極的に活かしていくため、市全体でスポーツを盛り上げていこうという考えの下で、市長部局にスポーツ課を設置することとしている。

〈要望〉市長部局にスポーツ課を新設するからには、充実した施策が展開できるよう、職員配置や予算配分を十分検討してほしい。

〔回答〕職員配置や予算については限られた範囲の中で最大限努力してまいりたい。



これまで以上にスポーツを盛り上げて、鳴門市全体がさらに活気のある街になってほしいね。

## 生活福祉委員会

- 議案第23号 鳴門市児童クラブ施設条例の制定について
- 議案第24号 鳴門市児童館条例の一部改正について

〔説明〕児童クラブ施設の建設に伴い、当該施設の設置及び管理について必要な事項を定めるとともに、桑島児童館を廃止するため、条例の制定及び改正を行うもの。

〔質疑〕林崎と桑島に児童クラブの専用施設が新設されたことにより、小学校4年生以上の受け入れも可能になるのか。

〔回答〕小学校4年生以上の受け入れができない児童クラブは、木津、撫養、鳴門西、林崎の4カ所であったが、林崎については、専用施設を建設したことによりクラスが増設され、受け入れが可能になる見込みであり、桑島は従来から高学年の受け入れも行っていたが、専用施設の新設により増員できるようになった。高学年を受け入れていない地域の児童クラブについては、対応を検討している。

## 産業建設委員会

- 議案第28号 松茂町ほか二町競艇事業組合と鳴門市との間におけるモーターボート競走施行に関する事務の受託に係る協議について

〔説明〕松茂町ほか二町競艇事業組合からモーターボート競走の管理及び執行にかかる事務の受託を受けるため議会の議決を求めるもの。

〔質疑〕松茂町ほか二町競艇事業組合の売上額及び鳴門市から松茂町ほか二町競艇事業組合への支出金額はいくらなのか。

〔回答〕平成28年度決算で、松茂町ほか二町競艇事業組合の売上額が25億4,259万7,600円であり、そこから必要経費を差し引いた約1,000万円を松茂町ほか二町競艇事業組合へ支出している。

## 予算決算委員会

- 議案第1号 平成30年度鳴門市一般会計予算

〔説明〕平成30年度は「第九」アジア初演100周年」という大きな節目の年であり、この記念事業の成功に全力を尽くすとともに、これを契機として、更なる市政発展に資する事業に対しては、積極的に投資を行うなど、「だれもが住み続けたい、訪れたいと思える、だれもが笑顔になる鳴門づくり」に取り組む、未来志向のまちづくりを着実に推進するための予算編成を行った。平成30年度の一般会計予算は総額241億7,000万円となり、対前年度比12億2,000万円（5.3%）増となっている。

〔質疑〕なぜ、鳴門市モーターボート競走事業会計からの繰入金3億円とは別に借入金5億円を計上しているのか。

〔回答〕厳しい財政状況の中にあっても、公共施設の耐震化や長寿命化、総合戦略などに関する事業にも取り組まなければならないことから、その財源確保のため、5億円を借り入れるものである。

〔質疑〕鳴門市モーターボート競走事業会計からの繰入金と借入金はどのように使い分けているのか。

〔回答〕スーパー改革プランに会計の全体最適が盛り込まれており、一定の繰り入れはやむを得ないが、過度の繰り入れは行わない方針としていることから、繰入金の上限を当面は3億円とし、総合戦略などの短期的に必要な資金について借入金で対応することとしている。

● 議案第26号 鳴門市附属機関設置条例の一部改正について

- 〔説明〕 公立保育所の再編計画策定について調査審議するため、新たに附属機関を設置するとともに、現在、教育委員会で所管している審議会を市長部局に移管するため、所要の改正を行うもの。
- 〔質疑〕 公立保育所のあり方についてどのように考えられているのか。
- 〔回答〕 保育ニーズや就学前教育、保育士不足などの諸課題を踏まえながら公立保育所のあり方について検討を重ね、公立保育所の施設数や場所などについて考えていきたい。
- 〔質疑〕 鳴門市スポーツ推進計画ではスポーツの範囲をどのように捉えているのか。
- 〔回答〕 スポーツを競技種目としてだけではなく、散歩や釣りなどの余暇活動も含め、幅広く捉えている。

● 議案第27号 鳴門市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

- 〔説明〕 農業委員会委員などへの報酬額に、活動に応じた報酬額を加算できる規定を追加するとともに、新たに設置する附属機関である、公立保育所再編計画策定審議会の委員に対する報酬額を規定するもの。
- 〔質疑〕 農業委員会委員などへの報酬の加算額はどれくらいの額を見込んでいるのか。
- 〔回答〕 これまで本市において最も利用集積が進んだ、平成27年度の実績を基に加算額を積算し、従来の委員報酬に約752万円を加えて計上した。
- 〔要望〕 農地利用最適化推進委員が加わり、農業委員会委員との連携が重要になるため、本来の目的が達成できるよう市としても支援していただきたい。

① 定例会で可決された意見書を各関係機関へ送付しました ①

## 徳島県公立高等学校の学区制廃止の検討を求める意見書

徳島県公立高等学校入学者選抜制度においては、徳島県立学校規則に定める併設型高等学校、専門学科及び総合学科を除く全日制普通科の通学区域は、3区域と定められている。

本市は、第2学区に属しており、本市が県の東北端に位置するという地理的条件から、第2学区に属する高等学校のうち、自宅から通学可能な学校は数校に限られている。

また、本市の中学生が、第3学区に属する徳島市の高等学校を志望した場合、学区外からの合格者数は、特色選抜の入学予定者数と合わせ、高等学校ごとに募集定員の8%以内という枠が設定されているため、十分通学可能であるにもかかわらず、非常に狭き門となっている。

さらに、本市から多数の合格者を出している県内全域を通学区域とする城ノ内高等学校が、順次高等学校の募集人員を減らし、平成33年度入試から募集を停止することになり、本市の中学生の進路の選択肢はますます狭められることとなった。

本市においては、中学生の進路の選択肢が極めて狭いことや、学区内と学区外では、合格するための得点に大きな差があることなどから、保護者をはじめ市民から不安の声が多く寄せられている。

また、子育て世代である本市の保護者が、子どもの高校受験のために、進路の選択肢が広い徳島市、松茂町、北島町、藍住町へ転出するなど、若年を中心とした人口流出が少なからず見受けられ、本市の中長期的なまちづくりの観点からも問題となっている。

以上のことから、徳島県におかれては、公立高等学校入学者選抜において、進路の選択肢を広げるため、また地域間での公平性を確保するため、現行の学区制の廃止を含めた通学区域についての検討を早急に推進することを強く要望する。

あわせて、地域のまちづくり、地域の教育の核となる地元高等学校が、これまで培われてきた優れた伝統や校風を生かしながら、生徒や保護者が望んで選択できる学校、地域が一体となって誇りに感じることのできる学校、そして、学力向上に向けた魅力あふれる充実した教育環境を備えた学校となるよう、その取り組みの推進を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年3月14日

鳴門市議会

# 一般質問

## 代表質問

### ① 東 正昇(会派 潮)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 市役所本庁舎の整備について
- (2) 四国のゲートウェイ化推進事業について

#### 2. 教育行政について

- (1) ICT環境の整備について



### ④ 山根 巖(会派 有志会)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 公立高等学校の入試制度について
- (2) 鳴門市市制施行70周年記念事業について

#### 2. 環境行政について

- (1) ペットボトルの集積について

### ② 三津 良裕(会派 創心クラブ)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 平成30年度当初予算について

#### 2. 公共施設について

- (1) 市役所本庁舎整備事業について
- (2) 市立図書館等の耐震化について
- (3) 公設地方卸売市場について

#### 3. 国際交流事業について

- (1) リューネブルク市との交流について
- (2) 張家界市との交流について
- (3) バングラデシュとの交流について

### ⑤ 松浦 富子(会派 公明党)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 持続可能な開発目標(SDGs)について
- (2) 子どもの貧困対策について
- (3) 中小企業の働き方改革について

#### 2. 福祉行政について

- (1) 不育症対策について

### ③ 宅川 靖次(会派 平成なると)

#### 1. モーターボート競走事業について

- (1) モーターボート競走事業の売上と現状について

#### 2. 土木行政について

- (1) 第六次鳴門市総合計画に基づいての進捗状況について

#### 3. 福祉行政について

- (1) 地域福祉計画について

### 《傍聴にお越しく下さい》

#### ・本会議・・・議場

(受付：東側階段より3階議場入口)

#### ・委員会・・・委員会室

(受付：中央階段またはエレベーターで3階議会事務局)

当日、傍聴券をお渡しますので、受付にて氏名、住所、年齢をご記入ください。職員がご案内いたします。

メートル 00平方 1万20 床面積を は、延べ ついて 算費用に ます。概 いたと思 まいりた 討をして



時代に適応した市役所庁舎へ

基本計画・実施計画を策定する中で、より精度の高い施設規模の検討をしてまいりたと思 ます。概 いたと思 まいりた 討をして

と仮定した場合、他団体の事業費実績から導き出される平米当たりの事業費単価約43万円を乗じると新庁舎の本体工事費としては、52億円程度になると考えております。



会派 潮  
あずま まさのり  
東 正昇

と仮定した場合、他団体の事業費実績から導き出される平米当たりの事業費単価約43万円を乗じると新庁舎の本体工事費としては、52億円程度になると考えております。

と仮定した場合、他団体の事業費実績から導き出される平米当たりの事業費単価約43万円を乗じると新庁舎の本体工事費としては、52億円程度になると考えております。

と仮定した場合、他団体の事業費実績から導き出される平米当たりの事業費単価約43万円を乗じると新庁舎の本体工事費としては、52億円程度になると考えております。

と仮定した場合、他団体の事業費実績から導き出される平米当たりの事業費単価約43万円を乗じると新庁舎の本体工事費としては、52億円程度になると考えております。

と仮定した場合、他団体の事業費実績から導き出される平米当たりの事業費単価約43万円を乗じると新庁舎の本体工事費としては、52億円程度になると考えております。



会派 創心クラブ  
三津 良裕

**問** 行政の最重要課題の1つとして、様々な事業・施策を行ってきた少子化対策は効果がなく、少子化が止まらない、その原因は。

**答** 人口減少や晩婚化、さまざまな要因が考えられるが、詳細な分析は難しい状況です。

**問** なぜ新しい市役所の庁舎を建設するのか、基本計画の策定作業の進捗状況と今後のスケジュールについて。

**答** 築55年を経過して耐震指標I s値が0.47で、大地震では庁舎の機能継続に支障を来すおそれが示されています。現庁舎に免震の耐震改修を施すとともに、その他の庁舎を集約した新庁舎を建設する案、分散庁舎を全て集約した新庁舎を建設する案について比較検討したいと考えています。基本計画策定の事業者の選定作業を進めています。有識者会議、市民アンケートも実施し、庁舎の性能、役割、機能を明確にしたいと考えています。

**問** 公設地方卸売市場の民営化に向けての状況について、施設管理などの現時点の状況について。

**答** 民営化を前提に関係者と調整、協議を進めていきたいと考えています。

**問** バングラデシユとの交流は経済界から始まり、平成27年夏にバングラデシユ舞踊団と阿波おどりの共演、平成28年4月バングラデシユのナラヤンゴンジ市長が来鳴、平成29年8月バングラデシユ人民共和国文化庁の国家行事として両国の一層の平和的な友好をとの願いのもと、バングラデシユ舞踊団と阿波おどりととの共演、駐日バングラデシユ人民共和国大使館ラバブ・ファティマ特命全権大使一行が鳴門市へ表敬訪問され、鳴門市からの公的なバングラデシユ訪問について要望が出され、商工会議所やニュービジネス協議会などが経済ミッションとしてバングラデシユを訪問したい意向を示し、平成30年1月に国際的な経済や文化の交流活動を深めるためバングラデシユのナラヤンゴンジ市を訪問、交流した。



阿波おどりを踊るバングラデシユ舞踊団

**官・民** 挙げての交流が深まる中で、どのようにバングラデシユとの友好都市提携、友好交流を行っていくのか。  
**答** 交流の輪が広がり機運の醸成が図られることを期待しています。



会派 平成なると  
宅川 靖次

**問** モーターボート競走事業の売上げと現状について、また今後の取り組みについて。

**答** 平成30年1月末現在の売上げは約309億6千万円で、そのうち一般レースの売上げは、平成28年度と比較し約13パーセント増、形態別の売上げでは電話投票が約33パーセント増と舟券購入形態は大きく変化しております。また、今後の取り組みとして引き続き売上向上とボートレース事業のより効率的な運営に向けた見直しを図り、新たな賑わいづくりに積極的に関与するとともに、公共の福祉の増進に努めることで、本市の発展に貢献してまいります。

**問** 排水機場や樋門などの水防施設の整備について、今後どのように取り組むのか。

**答** 既存施設の維持修繕に加え、排水能力が不足している排水機場については、社会資本整備総合交付金を活用し、年次計画的に機能向上に取り組みしており、今後について

でも引き続き排水施設の適正な維持管理や緊急度、重要度を考慮した計画的な更新や機能向上を図ることで、災害に負けない安心・安全な街づくりを進めてまいります。



鳴門市水防計画にも位置づけられている排水機場

**問** 地域福祉計画について、今後本市と社会福祉協議会との連携でどのように取り組むのか、その体制づくりについての方向性は。

**答** 平成30年度からの5カ年を計画期間とする、地域福祉計画の実施主体となる市社会福祉協議会の運営の体制強化及び地域福祉の推進体制に対する支援の必要性を確かめながら、地域住民の皆様が社会の一員として活躍できる地域共生社会の実現を目指し、いただいた情報や意見をもとに、地域にある社会資源を活用しながら計画の推進に努めてまいります。

\*一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています\*



会派 有志会  
やまね 有志  
山根 巖

**問** 徳島県公立高等学校入学選抜制度については、住んでいる地域によって非常に不公平感のある制度であり、本市の子どもたちが希望する学校に行けない状況にあるばかりか、受験生の選択の幅を狭めている大きな問題であると思うが、市長としての考えは。また、学区制の廃止について他の市や町との連携については。

**答** 現在の学区制では、本市の生徒にとって通学可能な高等学校が極めて限定されるとともに、学区間の競争倍率の隔たりが生じている状況にあります。また、まちづくりの観点からも、学区制を理由に若年人口の流出が懸念され、早急な学区制の廃止に向けた見直しが必要であると考えます。

今後は、本市と考えを同じくする自治体と連携を進め、県教育委員会に積極的に働きかけてまいります。

**問** 初めて開催された島田島ハーフマラソンは、晴天に恵まれ、13

44人のランナーが島田島の風光明媚な自然を満喫されたが、次回開催に向けての検討課題は。

**答** 大会は、おおむね成功したものと考えておりますが、コース内容や開催時期、そして交通規制やおもてなしの部分などの反省点を踏まえ、さらに多くの参加者が集まり楽しんでいただける充実した大会となるよう取り組んでまいります。

**問** ペットボトル集積用ドラム缶の管理をしていたいただいている地域の方々の負担を軽減するために、使い勝手のいい形状の容器にしてはどうか。

**答** 平成30年度当初予算において試行的にドラム缶を改良するための費用を1本あたり8400円で30本、計25万2000円を計上し、

実際に使ったき、ご意見などを参考に、より良いものができよう検討してまいります。



使い勝手の良い形状に…



会派 公明党  
まつうら とみこ  
松浦 富子

**問** 不育症治療費公費助成、不育症の市民への情報提供についての市の考えは。

**答** 治療費助成については、不育症の本市における現状の把握に努めるとともに、他市町村の助成状況を勘案するなど、今後調査研究してまいりたいと考えています。また、不育症に関する説明や国において一部の治療が保険適用されている事について、市民の皆様へ情報の提供や啓発活動を実施してまいりたいと考えています。

**要望** 安心して妊娠、出産、子育てできるまちを目指してネウボラが開設されているが、今後さらなる支援の充実を目指し、一日も早い助成を実施していただきたい。

**問** 持続可能な開発目標SDGsの推進について本市の考えは。

**答** 国の動向を注視しながらSDGsの達成に向けた取り組みについて検討してまいりたいと考えています。

**問** SDGsの各種計画への反映についての本市の考えは。

**答** 国の指針を踏まえるとともにSDGsに関する他団体の先進的な

取り組みなども研究しながら、今後各種計画の策定・改定に努めてまいりたいと考えています。

**問** 本市の教育分野におけるSDGsの取り組みについては。

**答** 今後とも子どもたちがよい未来社会を切り開くための資質・能力を育成できるように取り組んでまいりたいと考えています。

**持続可能な開発目標 (SDGs(Sustainable Development Goals))**  
SDGsとは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標のこと。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本も積極的に取り組んでいる。

**問** 子どももの生活実態把握等調査事業の現状は。

**答** 本市の貧困状況にある子どもの実態把握と支援ニーズや課題は、今年度末に報告書を作成する予定となっております。

**問** 子どもに対する支援策として、子ども食堂の設置についての考えは。

**答** 子どももの生活実態把握等調査事業の調査結果を踏まえ、検討してまいりたいと考えています。

# 個人質問

## ① 長濱 賢一

### 1. 鳴門駅周辺整備事業について

- (1) 駅周辺整備事業としての全体計画について
- (2) 駅前ロータリー整備工事について

### 2. 中心市街地活性化基本計画について

- (1) 本計画策定後の進捗状況について
- (2) まちづくり三法改正後の本計画の見直しについて

## ④ 佐藤 絹子

### 1. 福祉行政について

- (1) 高齢者等無料バス優待券交付事業について

### 2. 財政運営について

- (1) 予算の配分について



## ② 林 勝義

### 1. 過疎化対策について

- (1) 高齢化・人口減少対策について

### 2. 鳥獣被害対策について

- (1) 北灘地区における対策について



## ⑤ 平塚 保二

### 1. 消費生活問題について

- (1) 仮想通貨に関するトラブルについて
- (2) 消費者行政に関する取り組みについて

### 2. 水環境問題について

- (1) 市街地における水路の浚渫について
- (2) 下水道整備地域について
- (3) 下水道整備地域外の水環境対策について

## ③ 宮崎 明

### 1. 地域防災力の充実強化について

- (1) 防災拠点施設の整備について
- (2) 地域防災体制の強化について



## ⑥ 上田 公司

### 1. 地域活性化について

- (1) 地域振興について

### 2. 雇用と人事について

- (1) 非正規職員の処遇改善について

### 3. 医療保険制度改革について

- (1) 国民健康保険について
- (2) 後期高齢者医療制度について



ます。環境づくりを行い、発信の拠点となる通と情報支える交方創生を本市の地駅周辺が、鳴門後、安全性向上や景観の改善を行い、鳴門



工事が進む鳴門駅周辺

【答】駅前整備ですが、約47年間利用した施設が老朽化したので、歩道橋と旧観光案内所を撤去し、歩行者用通路と駅の東西に駐輪場を設置しました。また、駅前ロータリーの改修や情報発信機能を備えた拠点となるよう環境整備を行いました。また、駅前ロータリーも安全性向上や景観の改善を行います。今

【問】鳴門駅周辺整備事業が進んでいるが、鳴門駅周辺整備事業の全体計画はどのような計画か。また、何を整備し、特に駅西側の整備スケジュールはどのようになっているのか。



ながはま けんいち  
長濱 賢一

【意見】私は、本市の中心市街地の議員として地域の声を代弁し、中心市街地活性化を推進していくために活動していく。

【答】中心市街地活性化基本計画の進捗状況についてですが、文化芸術活動の環境整備や1000円商店街、クリスマスイルミネーションの開催など、様々な取り組みが行われており、今後も引き続き関係者と連携を密に図り取り組みたいと考えております。

【問】平成以降だけでも様々な中心市街地活性化策が策定され、多額の予算が支出されたが進捗が見られない。直近の平成12年策定の鳴門市中心市街地活性化基本計画の進捗状況をお聞かせください。また、市役所の整備計画が始まり、まちづくり三法が改正された今こそ計画を再考し、市民とともにまちづくりを進めるべきと考えられるか。

【要望】鳴門駅周辺整備は、内容を市民に周知する必要がある。温泉地でもない鳴門でなぜ足湯なのか。必要性を明確にしてほしい。運営費用や衛生・運用計画などを関係する委員会に諮ってほしい。

\*一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています\*



林 勝義 (潮)

**問** 高齢者の交通手段の確保について、安価で気軽に買い物や通院ができる、定期的に巡回するデマンドバスやデマンド型乗り合いタクシーがあると考えますが、地域でこうした取り組みを進める際の行政からの支援は。

**答** 高齢者等の通院や買い物支援などに限定し、一定の方を対象に行うコミュニケーション交通が有効な取り組みとなっているケースもあり、NPOや地域団体などが主体となりこうした取り組みを進めようとする場合には、企画段階から担当者を出席させるなど、可能な範囲の支援を検討していきたいと考えております。今後高齢者の居場所や介護予防の拠点づくり、有償ボランティアによる生活支援の仕組みといった、具体的な活動に関する機運が高まった地域から、順次取り組みが展開されていくものと考えており、こうした地域団体などの連携を通じた互助による移送サポートの仕組みづくりや、その運営についても支援を

行ってまいります。

**問** 鳥獣被害対策について、猿やイノシシにより農作物が荒らされるなど、鳥獣被害が深刻化している。猿やイノシシを捕獲し、頭数を減らしてほしいとの強い要望があるが、市の今後の取り組みや捕獲状況などについての考えは。

**答** 近年本市では猿やイノシシの被害対策について、鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会と連携し、国や県の補助事業を活用しながら、地区ごとに捕獲おりによる捕獲や電気柵など侵入防止柵の設置を計画的に行っております。また、平成29年度は1月末時点で猿32頭、イノシシ102頭を捕獲しております。



深刻化する鳥獣被害



宮崎 明

**問** 市は、南海トラフ巨大地震などの大災害に備え防災・減災対策を最重要施策として取り組んでいるが、消防団詰所の耐震化の進捗状況と災害拠点施設である消防大麻分署の耐震化の現状及び新改築を含む今後の計画は。

**答** 現在46分団詰所中33詰所の耐震化を終え、残りの詰所も引き続き耐震化を図っています。耐震基準を満たしていない大麻分署は、大規模災害時に地区消防本部としての機能が十分発揮できる施設にするべく耐震化の方法や時期を検討しています。



耐震化が急がれる大麻分署

**問** 東日本大震災後に、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に

関する法律」が施行されたが、法律施行後の消防団装備の整備改善状況と教育訓練の実施について。

**答** トランシーバーを各分団に2機ずつ、栗田分団に油圧切断機等搭載車両とエアータントを配備しています。教育訓練については、団員を階級別に県消防学校や消防大 schools に派遣し現場指揮能力の向上などに努めています。

**要望** 危機管理の基本は事前対応である。早急に整備整備計画を樹立し、充実強化を図ることを強く要望する。

**問** 自主防災組織のリーダーなどの人材育成及び大規模災害時に不可欠な同取り組みと消防団との連携強化の取り組みについて。

**答** 県が開催する防災リーダー育成講座に参加して人材育成に努めています。消防団との連携強化は地域防災訓練を通じて、お互いの役割分担の確認や協力関係の構築に努めています。

**要望** 「市民防災士」の資格取得支援助成金制度を創設し、専門的知識を持った防災リーダーを育成することを望む。



さとう きぬこ  
佐藤 絹子  
(平成なると)

**問**高齢者等無料バス優待券交付事業について70歳以上である対象を、体力・気力のある65歳以上に引き下げては。

**答**交通弱者の移動手段の確保を支援し、閉じこもり防止や社会活動への参加を促し生活福祉の向上にと、地域バスと鳴門市内を運行する徳島バスの路線で利用できる無料優待券を交付しております。要介護認定を受けていない市内の高齢者から3000人を無作為抽出して実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、37%の方が優待券を保有、32%の方が月一回以上、15%の方が週一回以上利用しているという調査結果が出ており、制度としては定着していると認識しております。65歳から69



介護予防につながるよ

歳までの高齢者への拡大については、近年の高齢者の体力、運動能力ともに向上していること、他団体の類似サービスにおいても70歳以上が多いことから、現時点では拡大する状況にはないが、近年の課題である運転免許証の自主返納者や若年認知症を含む認知症の方への対象拡大など、新たな視点から調査検討に努めてまいりたいと考えております。

**問**財政運営の中で、市道の補修工事費が絶対的に少ないために傷みの著しい市道が多い。このことについて、市民の方々は不安を抱き、通行にも支障がある。今こそ重点的に予算配分すべきではないか。

**答**「しっっかり安心・快適 住み良いまちづくり」の推進のため、市道を始めとするインフラ整備については、市民生活に欠くことのできないものであり、また、改善要望も多いことから、当初予算に加え、状況に応じて補正予算で対応しています。市民ニーズに的確に対応した効率的、効果的な予算で、適切な行財政運営に努めてまいります。



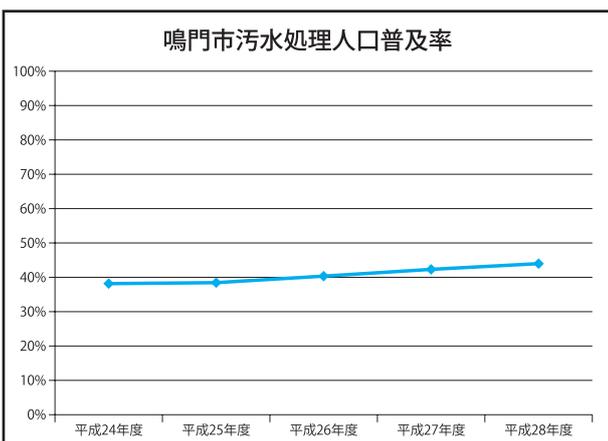
ひらつか やすじ  
平塚 保二

**問**下水道や合併処理浄化槽の普及促進についての取り組みと成果は。

**答**下水道への加入促進につきましては、国庫補助金を活用した普及促進員による戸別訪問を継続的に行っており、加入促進に努めております。平成30年1月末現在での水洗化率については39・9%となっております。次に、合併処理浄化槽の普及促進について、鳴門市汚水処理構想の見直しに伴い、合併処理浄化槽の普及がこれまでに以上に重要な課題となっており、転換助成制度の拡充を図りながら、広報紙などの活用や啓発のパンフレットの配布など周知啓発に努めてまいりました。さらに、新たな取り組みと致しましては、徳島県環境技術センターと連携し、単独処理浄化槽の法定点検時に啓発パンフレットを配布し、転換を促すとともに、来年度は水環境整備や普及促進に関するチラシを作成し啓発する予定と致しております。

**問**今、特殊詐欺と言われる中で、オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金詐欺が圧倒的に多く、全体の90%を上回っているが、鳴門市での相談内容はどういった内容か。

**答**最近多く相談が寄せられている事例と致しましては、ハガキによる架空請求が挙げられます。本市では平成29年7月ごろから相談が寄せられるようになり、ここ数カ月は毎月10件程度の相談が寄せられております。こうした状況を受けてウェブサイトや庁内モニターで注意喚起を行うとともに、3月の広報なるにも注意喚起を促す記事を掲載する予定としております。



県内18位の汚水処理人口普及率



うえだ こうじ  
上田 公司

**問** 昨年12月開催の島田島八フマラソンと大麻町ジングルベルマラソン大会は、開催時期が非常に近く、開催の遅い大麻町ジングルベルマラソン大会が影響を受けることは明らかであった。市として島田島八フマラソンの開催にあたって、大麻町ジングルベルマラソン大会実行委員会に対して、いつ事前説明を行ったのか。

**答** 非常にタイトな日程だったことから、大麻町ジングルベルマラソン大会実行委員会への事前説明はできていませんでした。来年度は、開催時期やコース内容などの精査とともに、実行委員会への事前説明を行う中で、両大会に相乗効果が生まれ、お互い盛り上がる大会となるよう努め



市民に定着しているジングルベルマラソン

ていきたいと考えています。

**問** 後期高齢者医療制度は、今年度から特例軽減の段階的廃止が実施されているが、最大でどれほどの負担増となるのか。

**答** 所得58万円の方を例にとると、所得割額については今年度の3万2000円が来年度には6万4000円の負担増に、均等割額については今年度の5000円が平成31年度は5万3000円の負担増となります。

**問** 臨時的任用職員の有給休暇の加算について、市は今年度を起算として加算を行うよう改めたとしているが、昨年度までをリセットする扱いは、なお労働基準法に反している。直ちに法令遵守を徹底するべきでは。

**答** 現在、昨年度以前より継続勤務している臨時的任用職員には、さかのぼって加算されるべき有給休暇が付与されていません。今後、全ての臨時的任用職員の勤務記録の把握に努め、来年度から雇用期間に応じた付与を行うよう準備を進めています。

## 人事案件

### 平成30年 第2回定例会の開催予定

平成30年第2回定例会は、6月12日から6月29日までの18日間の予定です。

- 6月12日(火) 第2回定例会 開会
- 予算決算委員会
- 13日(水) 一般質問通告締切
- 18日(月) 一般質問(会派代表質問)
- 19日(火) 一般質問(個人質問)
- 20日(水) 一般質問(個人質問)
- 予算決算委員会
- 21日(木) 総務文教委員会
- 22日(金) 生活福祉委員会
- 25日(月) 産業建設委員会
- 28日(木) 議会運営委員会・全員協議会  
議会運営委員会
- 29日(金) 第2回定例会 閉会

インターネットで中継・録画配信  
 ケーブルテレビで中継・録画放送

### ●固定資産評価審査委員会委員

- しもち しげる  
下地 茂 氏 (撫養町)
- はらうち ひでみ  
原内日出美 氏 (北灘町)
- ほそい かずお  
細井 一夫 氏 (瀬戸町)
- とみだ たかお  
富田 崇夫 氏 (大麻町)
- たけばやし ひさよ  
武林 久代 氏 (里浦町)
- さいとう みちこ  
齋藤 倫子 氏 (大津町)

### ●人権擁護委員

- はまの かずこ  
濱野 和子 氏 (撫養町)
- かなざわ としあき  
金澤 利明 氏 (大麻町)

### ●教育委員会委員

- かとう かんじ  
加藤 寛司 氏 (大津町)

## 市の予算の使い道について審査しました

8日間にわたり、予算決算委員会および各分科会を開催し、平成30年度予算・平成29年度補正予算に関する22議案について審査しました。

〔委員会での審査の中で出た意見・要望やそれに対する答え、説明を抜粋したものです。(■質疑 ●説明・答え ★意見・要望)〕  
※予算決算委員長報告の全文は、鳴門市議会ウェブサイト、「議会審議結果報告」の「委員長報告」をご覧ください。

### 教育 文化

#### 【教育】

■幼稚園、小中学校への防犯カメラの配備状況は。

●防犯カメラとセンサーライトの整備については、年次計画に基づき、幼稚園、小学校、中学校の順に整備を進めており、来年度に予定している小学校2校への整備をもって、幼稚園及び小学校への整備は完了する。

★子どもたちの安全を確保するため、予算を費やしてでも、早急な整備を図る必要がある。



■学校給食費の徴収方法はどのように変わるのか。

●学校の事務負担の軽減や子どもの現金持参によるリスクを軽減するため、平成30年4月より鳴門市一般会計への口座振替を基本とした取り扱いに変更することとしている。



■学校給食費の口座振替手数料は誰が負担するのか。

●口座振替に必要な手数料は、鳴門市が支払うこととなっているため、保護者に負担していただく必要はない。

■学校給食費を滞納している方への対応はどうか。

●滞納対策については、教育委員会で対応していくこととなる。

#### 【文化】

■鳴門板野古墳群の保存活用の現状は。

●鳴門市内の史跡を構成する、大代古墳、池谷法幢寺古墳、天河別神社古墳群、萩原2号墓の4カ所が、平成29年10月に国指定の史跡となった。このため、これらを適切に保存管理する必要があることから、有識者や地域の代表などで構成する検討委員会を立ち上げ、鳴門市の立地や自然環境などに合致した保存活用計画を策定していくこととしている。

### 福祉 健康

#### 【健康】

■脳ドックについて、毎年応募数が定員より多くなっているが、前年度当たらなかった方を優先する配慮はしているのか。

●本市で行っているがん検診受診者を優先しているが、それでも余っている枠については前年度の脳ドック受診の有無を加味して抽選で対応している。



■特定健康受診勧奨業務について、コールセンター方式は新しく始まったのか。

●特定健診などの未受診者対策として平成28年度からコールセンター方式を採用し、電話またはダイレクトメールでお知らせしている。

★頻繁に医療機関へ通院されている方は特定健診受診者を含む対応などを行わないと受診率はあがらないのではないか。

●現在、受診啓発の中で自分の健康を知り、事前に病気を予防してもらうという趣旨をうまく伝えられるよう対策を検討している。



#### 【福祉】

■認知症総合支援事業の徘徊高齢者対策について

●来年度から基幹型包括支援センターが主となって徘徊高齢者がいた場合の搜索協力者をネットワーク化する「徘徊SOSネットワーク」という組織をつくる。また、関係機関と連携し、徘徊高齢者を搜索する模擬訓練も行う予定である。現在は、徘徊高齢者が見つからない場合、防災行政無線を活用して呼びかけを行うこともしているが、来年度創設の徘徊SOSネットワークではメール配信を利用して搜索する方法も検討している。



■人権福祉センター耐震改修工事費について内装はどうか。

●耐震化にあたり天井と床を全面的に改修する。また、トイレを洋式化し、多目的トイレを1カ所設置する。照明のLED化についても検討している。

★高齢者も多いことから、将来的にはエレベーターの設置も検討してほしい。



## 暮らしを守る

### 【消防・防災】

■消防団員のうち会社勤めをされている方の割合はいくらか。

●鳴門市消防団員のうち約61%が会社勤めをされており、平日昼間に火災などの災害があった場合、出動できない可能性が高いことが危惧されている。

このため、今後、臨機応変な対応が期待できる機能別消防団員制度について、本市も取り組んで行かなければならないと考えている。



■なぜ、木造住宅耐震改修支援補助金の予算額が前年度と比較して大幅に増加したのか。



●平成29年度にそれまでの補助額60万円から市の上乗せ分20万円を増額した後、応募が一気に増加したことを踏まえて、さらに補助額を増額する平成30年度も応募が増加することを見込み予算を計上した。



■小型無人機ドローンの活用状況は。

●平成29年8月に小鳴門海峡で水難事故があった際に、防災ヘリコプターが到着するまでの間、ドローンで捜索を行った実績があり、今後、ますます様々な災害現場で活用できると考えている。



■社会教育施設へのAEDの設置状況と使用実績は。

●生涯学習人権課の管理する社会教育施設でAEDを設置している施設は、9カ所の公民館と青少年会館、図書館であり、ここ1年間で実際にAEDを使用し、救命措置を行った事例はない。

### 【交通安全】

■交通安全対策工事は計画的に道路毎に行っているのか。

●カーブミラーについては壊れたところを修繕し、防護柵などについては老朽化が進んでいる箇所が多いため計画的に進めている。

★道路構造物や交通安全施設などは順次見直す必要があるため、計画的に行ってほしい。

## 市民生活

### 【くらし】

■老朽化した集会所の維持管理などについてどのように考えているのか。

●平成32年度までに公共施設等総合管理計画の中で集会所も含む

各施設の個別の管理計画を策定することとしており、耐震化の問題も含め本格的に取り組まなければならないと考えている。

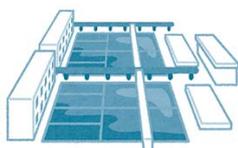
★十分、住民感情を認識しながら適正な配備を考えてほしい。

★地域のコミュニティ施設のあり方として、これまでの公民館、集会所という形態だけにこだわらず弾力的に考えていただきたい。



■昨年8月に行われた第1回鳴門市・北島町浄水場共同化協議会以降の、浄水場共同化の進捗について。

●第2回協議会では平成30年度の予算及び事業計画案について審議を行った。水道料金のあり方についての方針は平成30年度にまとまる見込みである。



### 【まちづくり】

■We Love になるとまちづくり活動応援補助金について、補助金の対象経費に制限があるなどボランティア団体にとって利用しづらいようであるが、対象経費を広げる考えはないのか。

●日常的な事務費など団体の維持的経費は対象外となるが、事業を推進するにあたり、今までの検証をふまえて対象経費の範囲について今後検討していきたい。

★ボランティア団体などのやる気をおこさせるような施策として、We Love になるとまちづくり活動応援補助金を起点とし、ワンランク上の補助や施策を行うことで、ボランティア活動の支援をしていただきたい。

### 【環境・衛生】

■クリーンセンター環境整備費のうち地元対策事業はどのようなことをしているのか。

●地元対策事業としては、道路の舗装や防犯灯の設置、集会所の修繕などを行っている。

★色々対策をしているようだが、地域の要望も聞いて今後も対応を考えてほしい。

★指定ごみ袋制により得た収益を地元の環境対策に使用してほしい。

## 観光 産業

### 【観 光】

■徳島ヴォルティスの試合には県内外の多くの方が集まるため、試合にあわせて、産直市を開催するなど、徳島ヴォルティスを有効活用できないのか。

●昨年の最終戦には来場者にちくわを焼いて食べてもらったり、開幕戦では「なるちゆるうどん」を出店するなど鳴門の特産品のPRを行っている。

★食べものだけでなく、観光のPRなど様々な事業を行って交流人口の拡大を図ってほしい。



■徳島東部地域DMO負担金について、負担金の額及び徳島東部地域DMOとの今後の関わりは。

●負担金として200万円を予定している。徳島東部地域DMOは徳島市を中心に、県内の自治体、民間事業者が会員となって設立準備が進められており、来年度の設立には鳴門市として正式に参加することを考えている。

★2012年から2016年の5年間で外国人宿泊数が10倍となった、にし阿波の「そらの郷」を参考にするため、今後、にし阿波との交流を検討してほしい。

**DMO(日本版)**とは、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域への愛着を醸成する観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人のこと。

### 【ボートレース】

■ボートレース関係の予算について、広告宣伝費及び新聞広告料などに高額な予算を計上しているが、その



分の費用対効果は考慮しているのか。



■多言語観光情報サイトにどのような内容を掲載するのか。

●多言語観光情報サイトには鳴門市の観光情報をメインにまとめていきたい。

★多言語観光情報サイトには、鳴門市のPRとともに、外国人がトラブルに遭遇した際に役立つトラブル対応集を掲載してほしい。

### 【産 業】

■豊岡市では「コウノトリ育む農法」を実践して、米の販売価格が上昇するなどの効果がでているようであるが、鳴門市でも同様の取り組みはできないのか。



●鳴門市でもコウノトリブランド認証制度を策定しており、昨年9月からコウノトリレンコンの出荷が始まっている。今後、国及び鳴門市の補助金などを用いながら、鳴門ブランドの底上げに取り組んでいきたい。



■地域おこし協力隊の現状と今後の展開は。

●現在、男女1名ずつの合計2名の地域おこし協力隊がおり、男性の隊員は、移住された方に対して大麻町のレンコン就農を勧める活動を中心に、JAで開設予定である農業版の職業紹介所との連携も検討している。また、女性の隊員については、今年度ビジネスプランコンテストでグランプリを取った<sup>すいみー</sup>粋美一で商品開発や販売などに取り組んでいる。

●以前は広告宣伝費をかけない本場主体の売上が主だったが、現在では売上形態が変化し電話投票が増加しているため広告に力を入れている。実際に、広告を増やすほど売上が上がっているため、利益を上げるための広告への投資は必要であると考えている。

★現在利益が上がっているからこそ、計画を立てて慎重に事業を進めてほしい。

## その他

### 「予算決算委員会での採決結果」

議案第1号「平成30年度鳴門市一般会計予算」から

議案第12号「平成30年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算」までの当初予算議案

議案第29号「平成29年度鳴門市一般会計補正予算(第5号)」から

議案第38号「平成29年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)」までの補正予算議案

合計22議案については、いずれも原案のとおり可決すべきと決しました。

# 市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。

本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファクス・Eメールなどでおよせください。

① 議会だより紙面について（感想、ご要望など）

② 議会のしくみや専門用語についての疑問など

※内容についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記してください。

… 市民の皆さんのご意見をお待ちしています …

※ 宛先 ※ 鳴門市議会事務局

〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地  
TEL(088)684-1234 FAX(088)684-0814  
E mail gikai@city.naruto.i-tokushima.jp



## 政務活動費収支報告について

市議会ウェブサイトで、平成29年度政務活動費（4月～12月分）の政務活動費収支状況及び収支報告書を公開しています。また、議会事務局でも政務活動費関係書類の閲覧及び写しを請求することができます。



<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/seimukatudo.html>

～ 編集を終えて ～

今回の議会だよりの発行日は、1918年6月1日に板東俘虜収容所でドイツ兵捕虜によってベートーヴェン「第九」交響曲がアジアで初めて全曲演奏されてから、ちょうど100年目の記念すべき日です。

初演の背景には、ドイツ兵捕虜に対する人道的な処遇や、地元民との国境を越えた交流など、心温まるエピソードがありました。

100年前にこの地で先人達が残した世界平和のメッセージを、今一度、心に深く刻み、私たちがさらに100年後へこの史実を伝えていかなければならないと感じるところであります。

## 議会活動(平成30年3月～5月)

### 3月

- 1日 予算決算委員会全体質疑（普通質疑）
- 2日 予算決算委員会全体質疑（普通質疑）
- 5日 予算決算委員会第1分科会
- 6日 予算決算委員会第2分科会
- 7日 予算決算委員会第3分科会
- 8日 特別委員会
- 12日 予算決算委員会（採決）  
バングラデシュ報告会  
渦潮高校（柔道）表敬訪問
- 13日 議会運営委員会、全員協議会  
議会運営委員会
- 14日 第1回定例会閉会  
市シルバー大学卒業式
- 16日 「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会総会  
及び国際シンポジウム
- 17日 瀬戸小・幼休校式
- 19日 大鳴門橋架橋記念館リニューアルオープン  
内覧会
- 20日 大塚国際美術館開館20周年記念式典
- 23日 議会運営委員会
- 25日 鳴門市吟剣詩舞大会
- 28日 議会広報委員会
- 29日 議会運営委員会

### 4月

- 1日 オラレ美馬リニューアルオープン記念式典
- 5日 徳島県市議会議長会定期総会(美馬市)
- 6日 市内新規就職者激励大会
- 7日 神戸淡路鳴門自動車道全通20周年記念  
セレモニー
- 10日 黄色い帽子贈呈式(撫養小)
- 11日 黄色い帽子贈呈式(撫養幼)
- 13日 議会広報委員会
- 15日 第17回阿波えらいやっちゃんデーウオーク  
出発式
- 22日 徳島自動車道付加車線設置事業着工式
- 26日 議会広報委員会
- 27日 市婦人連合会総会  
合区の早期解消促進大会(東京)
- 28日 市保育協議会定期総会
- 29日 市身体障害者連合会定期総会  
市子どものまちづくり推進協議会総会

### 5月

- 1日 阿南市市制施行60周年記念式典
- 8日 四国市議会議長会定期総会(高知市)
- 11日 市幼小中PTA連合会総会
- 12日 市戦没者追悼式
- 14日 瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会定期総会  
(丸亀市)
- 15日 鳴門市市制施行71周年記念表彰式
- 16日 市民生委員児童委員協議会総会
- 18日 全員協議会
- 19日 桑島テニス場なるちゃんコートリニューアル  
オープン
- 22日 市老人クラブ連合会総会
- 23日 市防犯協会理事会・総会  
大麻町商工会第58回通常総会
- 24日 徳島環状道路建設促進期成同盟会第26回総会
- 25日 第2回定例会日程協議  
市シルバー人材センター定時総会
- 27日 大代分団詰所落成式
- 29日 青森県弘前市議会行政視察
- 30日 チャレンジデー2018  
全国市議会議長会定期総会(東京)
- 31日 佐賀県伊万里市議会行政視察  
議会だより配布



傍聴に  
来てね～

### 《議会広報委員会》

委員長：平塚 保二

副委員長：上田 公司

委員：東 正昇・潮崎 憲司・浜 盛幸  
佐藤 絹子・橋本 国勝・三津 良裕

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。